

# バランス ニュース

アルファ

第29号

## 高橋剛商会



『バランス ニュース』は、ユーザーの皆様と、販売者、メーカーを結ぶ情報交換誌です。



〒170 0002 東京都豊島区巣鴨2-5-12 5F

TEL03-3576-5811 FAX03-3576-5815

フリーダイヤルお客様センター 0120-76-5812

バランス : <http://www.balance-alpha.com/jp/>

お米 : <http://www.takahashitsuyoshi.com/>

## 美容特集

前号のA子さんのように「バランス」を長期間飲用しているにもかかわらず結局、間違った化粧品選び、スキンケアによって毎日肌を傷つけてしまっている方が大変多くいらっしゃるようです。

例えば、オイリー肌の方が化粧品店のカウンターに行くと、「あなたはオイリースキンだから、余分な脂を取りのぞいて・・・」などと言われ、「オイリー肌用」化粧品を勧められるでしょう。でも、それはお肌の皮脂をごっそり奪い去り、「ケア」を続けるうちに乾燥が目立ってくるようになります。

そして、再び化粧品店に行けば、「あなたは乾燥肌ですから肌にうるおいを・・・」と油分や水分を与える化粧品を勧められます。それは確かに、つけた瞬間や翌朝は、肌の調子がうるおいを取り戻して、蘇ったように感じるものです。しかし、長く使い続けると、合成界面活性剤の影響でお肌の健康は日に日に損なわれ、乾燥が激しくなってトラブルを起こしやすくなるケースが多いのです。

そうすると、今度は「あなたの肌は敏感なようだから」と敏感肌用の化粧品を勧められる、という結果になるでしょう。

これは極端な例ですが、実際このように惑わされていけば、本当の美肌はいつになっても手に入れることはできないのです。



女性ならお肌に無関心ではられません。販売員さんに「あなたは肌」と指摘され、弱いところを突かれた気がして、つい購買欲を刺激されるものです。

しかし、その言葉を鵝呑みにして素晴らしい肌の未来が待っているかということ、そうとは言えません。実際、販売員さんに「乾燥肌用」を勧められ、何年か同じものを使っていたら、かえってひどい乾燥肌になってしまった、というお話をよく聞きます。

化粧品メーカーの美容部員さんで綺麗な素肌の方っていらっしゃるのでしょうか？

今、この瞬間から、お肌を美しく変わらせていきたいと思うなら、あなたは一体、何をすればいいのでしょうか？

それにはあなた自身が、良質な化粧品を選び抜く、確かな目をもたなければいけません。本当に役に立つ化粧品を見分けるには、化粧品に対する正しい知識を持つことが必要です。

“真の肌の美しさ”を求める大人の女性のために  
「危ない化粧品」&「化粧品の選び方・使い方」  
の特集です。

(今お使いの化粧品に満足している方・化粧品メーカーの方は読まないでください)

## 美肌は1日にしてならず。

肌の細胞が生まれ変わるには、新陳代謝がよい20歳代でも28日、60歳代では100日とも言われます。常識で考えても、化粧品を変えたからといってすぐに肌が変わるわけがないのです。

「使った翌日から肌が生まれ変わった」などというのは、化学成分の“効果”に他なりません。

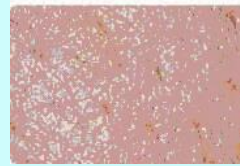
成分表示をよく見てください。肌のことをよく考えている化粧品は、シンプルで肌本来の美しさを引き出す地道なスキンケアをすすめます。真の知識を持つ女性なら「ひと晩で肌が変わる！」

などといういい加減な宣伝文句に安易に飛びついたりしないはずです。

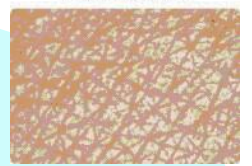
化粧品メーカーはせめて「この一本を使い終わった時に違いが分かる」くらいにして欲しいもの。

これからあなたが目指すきれいなお肌の条件とはきめが細かい凹凸が規則正しくならんだ状態です。ちょうどダイヤモンドのブリリアンカットのように光を乱反射して明るく見せるのです。

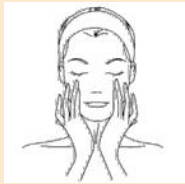
衰えた肌



健康的な美しい肌



## 肌を痛める 乳液・クリーム



保湿は乳液やクリームがいいと思いきまれている方がいますが、乳液やクリームには必ずオイルが含まれています。そもそもクリーム類を顔に塗ったままで強い陽射しの下を歩くこと自体、肌に負担となります。油が酸化して刺激物にかわり、皮膚を油焼けさせて痛み、シミなどの原因となるのです。また、「アブラ分を補う」ことは、脂分を皮脂腺から分泌させる機能が衰えてきます。「使えば発達する」「使わなければ衰える」これが生命の原則です。

毎日の洗顔後、クリームなどをつけていると、自ら健やかになるようする肌本来の働きを退化させてしまうのです。肌のために一番いいのは、自分の皮膚から分泌される皮脂です。自分の体から出る汗と皮脂が皮脂膜を作り、自然に肌をガードしています。

ですが、自分の皮脂でも時間が経てば酸化し、シミやそばかすなどの原因になります。まして動植物性や石油系の油は、肌により多く負担を与えます。肌が一番大きなダメージを与えるのが、“きれいな”ため、に毎日使用している化粧品の動植物系・

石油系の油なのです。

また、乳液・クリームは「水と油」ですから、当然、界面活性剤が必要になり、それが皮膚のバリア機能を破壊しています。「アルキル」「ラウリル」は、界面活性剤全般についている名前。そこに「ベンゼン」「フェノール」などが付くと石油系の原料であることを指します。

さらに、石油系合成界面活性剤は悪いけれど、天然原料の合成界面活性剤は良いなどとしてヤシ油・椿油などの原料を強調する商品もありますが、これも正しくありません。

界面活性剤は、天然原料であれ、石油原料であれ同じ化学構造式をもつ物質として基本的には同じ性質です。界面活性剤不使用の化粧品を使っているのに肌トラブルが解消されないのは、シャンプー、トリートメント、ボディシャンプーなどに含まれている化学成分にかぶれている可能性があります。これらの商品に使われている界面活性剤は、化粧品の中でも毒性の強いものが使われているケースが多いのです。



## 植物エキスなら安全だとお考えですか？

自然成分のように思える植物エキス。自然派化粧品に使われている植物エキスはBG(1,3ブチレングリコール)などの化学薬品で抽出された溶液でそのほとんどが輸入品です。中国野菜の残留農薬が問題になっていますが、もちろん植物エキスにも、同じ問題があります。農薬は油に溶けやすいので、すべてエキスに濃縮されてしまいます。商品によっては何十種類ものエキスが配合されている事もめずらしくないようです。

成分表示の抜け道 / 植物性エキスは、色や香りや成分が変化しやすく、化粧品の保存期間である三年も同じ状態で保つことが難しいので、防腐剤、酸化防止剤、褪色防止剤、安定剤など化学物質が使われますが、それは化粧品の成分には表示されません。このように表に出ないものをキャリアオーバー成分と言い、防腐剤が含まれた植物エキスを配合して化粧品を作っても、メーカー側が防腐剤を添加しなければ「無添加化粧品」として販売されるのです。



## EM (有用微生物群) の思想

ひと頃「バイオテクノロジー」という言葉が流行りました。もはや当たり前技術となりましたが、遺伝子操作や微生物の生化学反応により、自然界にない物質や生き物をテクノロジー的に作り出す技術です。

EMも有用微生物たちの生合成能力を利用しますから、「バイオテクノロジー」の一種と思われがちですが、実は全く対極にある考え方です。

EMを構成する菌類はすべて自然界にそのまま生息するものです。同様に、作り出されるものも自然界に普通に存在しています。自然なものを自然な形で引き出し、自然な状態で利用する、これがEMの基本技術です。

そしてその利用形態も、農業利用にせよ、環境利用にせよ、医療・健康利用にせよ、植物や動物や人間の、生命体として備わっている自己治癒力・自己回復力・自己免疫力を引

## 化粧品によく入っている成分、BGとは？

BG（1、3 - ブチレングリコール）は、お酒や消毒用に使用されるアルコールに似た構造を持ったアルコールの一種。保水性・粘性がある無色透明・無臭・無刺激の液体です。製造上、非常に扱いやすく安定性が高く、使用感が良いので様々な化粧品に保湿剤、溶剤、粘度調整剤等として多用されます。

このBGを調べてみると（協和発酵ケミカルHPを見ました）  
第四類第三石油類（水溶性）

<取扱上の注意>

皮膚：大量の水で洗ってください。

眼：15分以上流水で洗った後、医師の診断を受けてください。

吸入：新鮮な空気を吸わせて下さい。

等、記載されていました。こんな成分が入った化粧品を使いたいと思いますか？ 濃度が低いから精製技術が優れているから大丈夫といいますが、信じていいのでしょうか？ また、BGは防腐剤としての用途もあり「防腐剤不使用」と謳っている化粧品は、じつはBGを多用している場合があります。

## アンチエイジング化粧品

女性なら「アンチエイジング」という言葉にどうしても反応してしまいますね？ アンチは「反対」、エイジングは「加齢」という意味。つまり、「歳をとることに抵抗する」ということ。年齢に逆らうことは出来ませんが、健康で活力のある状態を長く保つことはできます。これがアンチエイジングです。

老化とはイコール酸化です。りんごの切り口が茶色くなる、クギがサビるなどのように体がサビていく現象のこと。その原因が「活性酸素」です。老化のもとである活性酸素をどれだけ少なくできるかがアンチエイジングにつながるわけです。

今お使いのアンチエイジング化粧品はサビの原因、活性酸素を消去する抗酸化力が本当にありますか？



## 「自然への信頼」

き出す・助長する、というものなのです。このようなEM技術のあり方には、比嘉先生の「自然への信頼」が感じられます。これを比嘉先生は「蘇生」と呼びます。自然には蘇生に向う力があると。

「地球全体が、強烈な酸化状態の方向へ向かっている現実はおわかりかと思いますが食べ物、飲み水、吸う空気、その他、いたるところで植物も動物も人間もあらゆる物質が、崩壊の危機にさらされています。これを蘇生の方向に戻すには、もう対処療法的な方法では無理で、生命のいちばん最小の単位である微生物の世界から蘇生の方向に戻してやらないと、解決できない・・・

EMはそうした蘇生の方向の場を整える力を持っているのです。」（『地球を救う大変革』66pより）。

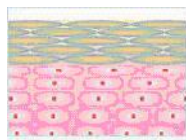


コットンなどで、すりこむようにつけていませんか？

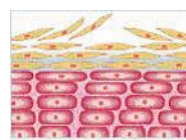
化粧水をつけるとき、コットンなどの細かい繊維を使っても角質層を傷付けて水分が逃げてしまいます。また、つけるときに肌をたたくのも角質層を傷つけます。

清潔な手のひらに化粧水を取り、やさしく肌を包み込むようにしてなじませましょう。乾燥が気になる場合は一度にたくさんの量をつけるより、数回に分けてつけた方が効果的です。シミやシワ、くすみなど、肌のトラブルが気になる場合は、美容液などを加えるとよいでしょう。美容液はむやみにつけるよりも、肌の状態にあわせて選びましょう。

最近、パフを使った洗顔を勧める化粧品メーカーがありますが、これは表皮の汚れを落とすより「表皮を削り取る」に近い感覚です。こすらないことが肌にとって一番大切です。



バリアが正常な肌



バリアが弱れた肌

## 「無添加」の現実・・・

「無添加化粧品」というと「合成化学成分を添加していない」ように思われますが、まったく違います。

合成化学成分とは、防腐剤・香料・合成界面活性剤・安定剤・着色料などの「総称」です。その合成化学成分のどれか1つ、例えば「着色料」だけを配合していない化粧品は、「防腐剤」や「香料」が入っていても、「無添加化粧品」なのです。「無添加」という言葉はそれほどいい好き勝手に使われているのが実情です。「自然派化粧品」も同様。「合成化学成分は一切使用していない」と考えるの普通ですが、現実には「合成化学成分」+「自然成分」で作られています。しかし、ここがポイントですがそれぞれの割合には何の決まりもなく、植物エキスの「自然成分」がほんの少しでも含まれていれば、あとはすべて「合成化学成分」で作られていても「自然派化粧品」になるのです。

これは極端な例ではなく、大抵の「自然派化粧品」がこのような内容で作られています。

試しに、自然派化粧品の「全成分」をご覧ください。見慣れない化学用語がぎっしり並んでいたら、それは自然のままの天然成分がごくわずかしかな含まれていないのです。

「高配合」の定義 / CMなどで聞く「新成分〇〇を高配合」という言葉ですが、実際にはたった「0.3%以上」が「高配合」の定義。言葉が、いかに都合よく使われているか、お分かりいただけるでしょうか。

## クレンジングクリーム

クレンジングクリームだけで洗顔をするのはとんでもないことです。チョンチョンと指で顔においてパフなどで拭き取る「洗顔」だけではホコリや化粧品の汚れは落ちて、油成分であるクレンジングクリームを顔中にのばして再び化粧したのと同じこと。そのままベッドに入れば化粧したまま一晩寝ることになります。

油性のナイトクリームを顔に塗って寝れば昼夜を通じて肌を痛めますが、クレンジングの「洗顔」も同じです。これを続けているとメラニンが沈着して次第に黒ずんだ皮膚になります。実際クレンジングだけで洗顔している人の肌は、くすんでいてひと目でわかります。



# エピローグ

化粧品の本当の効果とは、一時的な作用ではなく、使い続けることでお肌を元から変えていくことにあるべきでしょう。

しかし現実には、使い続けて現れる「本当の効果」はほとんど無視され、かわりに「一時の擬似効果」だけを最大限に引き上げるよう、化粧品メーカー各社はしのぎを削っています。

何故このようになってしまったのでしょうか。理由はいくつか挙げられますが、その1つとして、新しい化粧品が次から次へと発売される現状があります。

目新しい宣伝コピーで、私たちの目を釘付けにする新製品が毎日のように登場しています。私たちも好奇心をもたずにはいられません。「ちょっと試すだけ・・・」と思いつつ、短い期間でとっかえひっかえ使っていると、本来化粧品が発揮するはずの「使い続けて現れる効果」など、望めるわけがないのです。

このように、使う側の私たちが、頻繁に化粧品を取りかえるものですから、化粧品メーカーが「これでは本当の効果に力をいれても無意味だろう」と考えたとしても、無理のないことかもしれません。

残念ながら、最近はこのような「擬似効果」のみを追及した化粧品ばかりになってしまいました。今や、お肌の未来を長期的に、真剣に考えた化粧品を探す方が、はるかに難しくなったのです。

お肌に「本当によい効果」をもたらす化粧品を見つけ出すことができたなら、あとはその化粧品を信じて、長期的にケアを続けることが大切です。

化粧品は何よりも「長期的な視点」が必要だということを覚えておいてください。浮気を重ねても、最後には一番望んでいなかった結果が待っているだけ、という可能性の方が高そうですし。

というわけで、自分たちの手で“長続きする化粧品”を提供したいという思いから、“自然農法から生まれた、超自然派化粧品”を開発いたしました。

発売にあわせて、

「無料サンプルプレゼント1000人キャンペーン」

「期間中限定の送料無料サービス」

などを予定しております。

詳しくは

次号(5月25日発行)の「バランス ニュース」でお知らせいたしますので、絶対にお見逃しなく！

注意 「無料サンプル」は、「バランス ニュース」の読者の皆さまと読者さまがご紹介いただいた方に限定させていただきます。

お友達にも教えてあげてくださいね  
「無料サンプル」がもらえることを！



購入する前に「バランス」の無料サンプルを試したい貴女へ！

ユーザー様のまわりに、「健康」「老化」「美容」でお悩みの方はいらっしゃいませんか？「バランス」が無料でお試しできることを教えてあげてください。

(株)高橋剛商会では、「バランス」のユーザー様からご紹介された方、販売店等のチラシで「バランス」に興味を持たれた方など、毎月20名様に、「バランス」のサンプルと資料を無料進呈させていただきます。

下記要領で、試されたいご本人様からお申込み頂きますよう、お願いします。

「バランス」無料サンプル申込要領

1. 期間 / 5月1日(火)  
午前9時より受け付け開始、定員になり次第締め切り
2. 申込者 / 試してみたい方ご本人
3. 申込方法 / 無料フリーダイヤルへ  
FAX(0120-76-5812)
4. 必要記載内容 / ご本人様の氏名・住所・電話番号

\* 無料サンプルは1人でも多くの方に試して頂くために1家族様1本とさせていただきます。

